

# エムティーアイ通信

## 中間報告書 2022年9月期

2021.10.1-2022.3.31



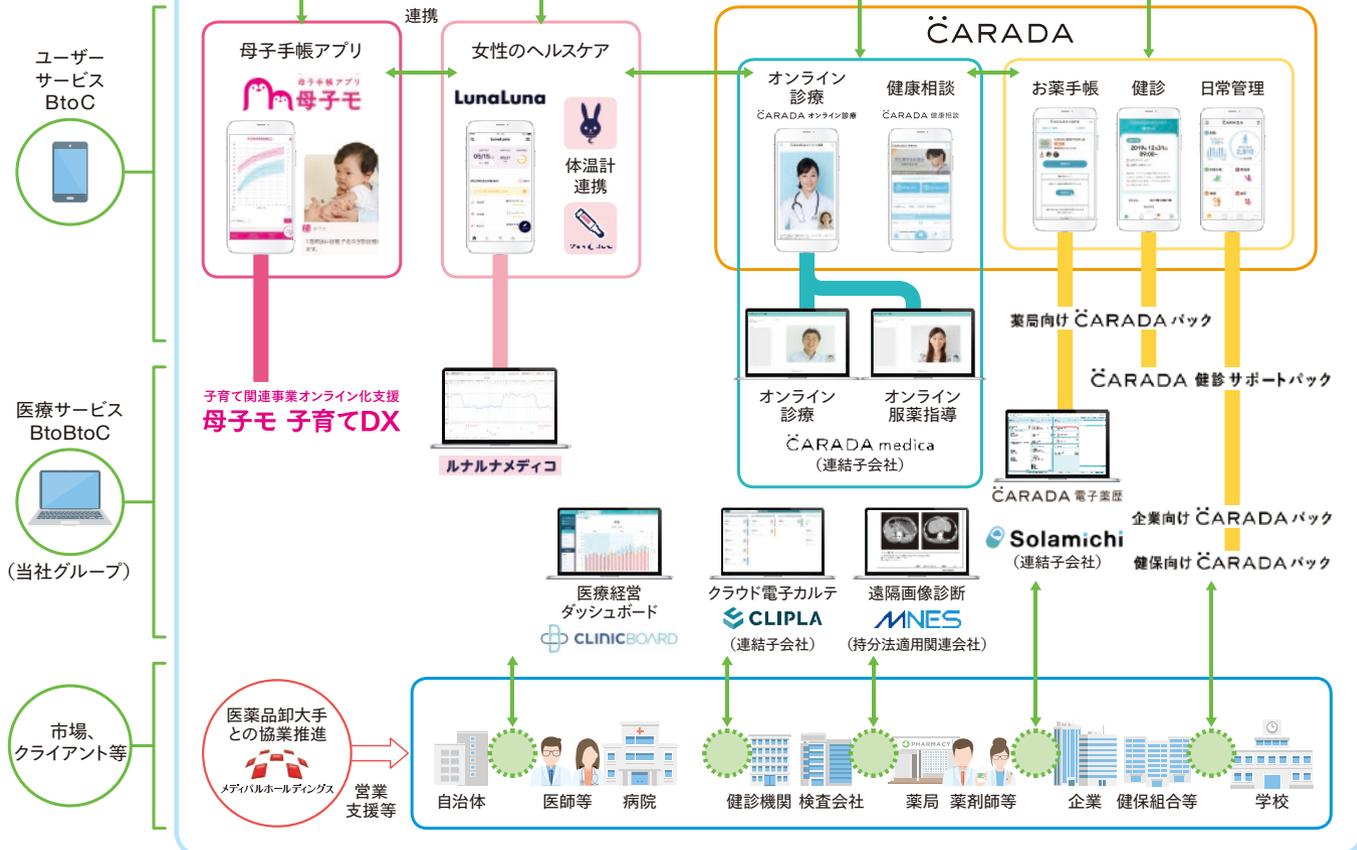
株式会社エムティーアイ

〒163-1435  
東京都新宿区西新宿3-20-2  
東京オペラシティタワー 35F  
<https://ir.mti.co.jp/>

株主の皆さまへ

# ヘルスケアサービス全体像

各サービス間のデータ連携が可能な健康情報管理データベースを構築



※ 画像は一部開発中のものであり実際のものとは異なる場合があります。  
 ※ 当社グループが提供するサービスは、医療現場へのサポートサービスを一部含んでいますが、医療行為を行うものではありません。

## トップメッセージ

### ヘルスケア事業の売上拡大に取り組みます。



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループの当期において、将来の持続的な成長に向けてコンテンツ事業およびヘルスケア事業においてさまざまな取り組みを行いました。

コンテンツ事業では、携帯ショップ経由の新規入会者数が低調に推移する中、需要の高いセキュリティ関連アプリの新規入会者獲得を拡大させるとともに、コミック配信事業者向けオリジナルコミック作品の月間提供数を拡大させました。

ヘルスケア事業では、調剤薬局での導入意欲が高まっている「クラウド薬歴」の導入店舗数の拡大を図るべく、また自治体向けに母子手帳アプリ等の子育て関連ソリューションの積極拡販を行うべく、協業先の株式会社メディパルホールディングスとの連携を行いました。

下期以降も、ヘルスケア事業がけん引役となって利益成長していくと考えていますので、同事業の売上拡大および

赤字縮小に注力するとともに、コンテンツ事業ではセキュリティ関連アプリやオリジナルコミック事業のさらなる拡大に取り組んでいきます。また、大手法人向けDX支援事業、学校DX事業についても事業を拡大させ、持続的な成長に向け取り組んでいきます。

なお、中間配当金については、親会社株主に帰属する四半期純利益が当初予想を大幅に下回りましたが、ヘルスケア事業が収益貢献するまでは安定配当を維持する方針であることを勘案し、1株あたり8円とさせていただきます。

株主の皆様には、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

前多 俊宏

## 2022年9月期 上期業績

売上高：横ばい、営業利益：減益

学校DX事業の先行投資、法人向けDX支援 事業の費用増

コンテンツ事業では、携帯ショップ経由の新規入会者数が低調に推移する中、需要の高いセキュリティ関連アプリ『AdGuard』の新規入会者数を拡大させるとともに、コミック配信事業者向けへのオリジナルコミック作品の月間提供数を拡大させました。

ヘルスケア事業では、調剤薬局での導入意欲が高まっている「クラウド薬歴」の導入店舗数の拡大を図るべく、また自治体向けに母子手帳アプリ等の子育て関連ソリューションの積極拡販を行うべく、協業先の株式会社メディパルホールディングスとの連携を行いました。

これらのことにより、売上高は129億75百万円（前年同期比0.5%減）となりました。

売上総利益は、売上高が横ばいであるものの、売上原価率の高いその他事業の増収により構成比が拡大したこと、また同事業において低採算案件が増えたことに伴い売上原価が増加したことにより、91億60百万円（同4.9%減）となりました。

営業利益および経常利益については、テレワーク体制への移行に伴う家賃の減少、租税公課の減少がありましたが、当社子会社のモチベーションワークス株式会社にて積極展開する学校DX事業を含む開発強化のための開発人員の増強により人件費が増加したことを主因として、販売費及び一般管理費が増加し、それぞれ5億99百万円（同51.4%減）、2億92百万円（同65.2%減）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益については、経常利益は減益となりましたが、特別損失および法人税等の減少により、1億23百万円（前年同期は14億16百万円の損失）となりました。

### 上期業績

|                                    | 2022年9月期<br>上期 | 2021年9月期<br>上期 | 前年<br>同期比 |
|------------------------------------|----------------|----------------|-----------|
| 売上高                                | 129億75百万円      | 130億46百万円      | 0.5%減     |
| 営業利益                               | 5億99百万円        | 12億32百万円       | 51.4%減    |
| 経常利益                               | 2億92百万円        | 8億40百万円        | 65.2%減    |
| 親会社株主に<br>帰属する<br>四半期純利益<br>(△は損失) | 1億23百万円        | △14億16百万円      | —         |

## 上期業績予想との差異

売上高は、予想通りの着地となりました。一方、利益は当初予想より下回る結果となりました。営業利益は、その他事業での一部の案件に採算性の悪化が見られ売上原価が増加したこと、また学校DX事業への先行投資による販売費及び一般管理費が増加したことによるものです。経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益については、想定額を上回る「持分法による投資損失」を計上したことによるものです。

### 上期業績予想との差異

|                  | 2022年9月期上期 |           | 差異       |
|------------------|------------|-----------|----------|
|                  | 直近予想       | 実績        |          |
| 売上高              | 130億円      | 129億75百万円 | △24百万円   |
| 営業利益             | 10億円       | 5億99百万円   | △4億万円    |
| 経常利益             | 8億円        | 2億92百万円   | △5億7百万円  |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 4億円        | 1億23百万円   | △2億76百万円 |

## 通期業績予想の修正

下期は上期と同様に、大手法人向けDX支援事業における売上原価の高止まり、および、学校DX事業における先行投資の状況が続くとの見通しから、通期の連結業績予想において、売上高は据え置きとする一方、利益は下方修正いたします。

### 通期業績予想

|                       | 2022年9月期<br>通期(予想) | 2021年9月期<br>通期(実績) | 前期比    |
|-----------------------|--------------------|--------------------|--------|
| 売上高                   | 260億円              | 257億43百万円          | 1.0%増  |
| 営業利益                  | 12億円               | 19億29百万円           | 37.8%減 |
| 経常利益                  | 7億円                | 13億70百万円           | 48.9%減 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益(△は損失) | 3億円                | △11億64百万円          | —      |

・業績予想値はレンジで開示していますが、便宜的にレンジの中間値を記載しています。

## 配当金予想

中間配当金については、親会社株主に帰属する四半期純利益が当初予想を下回りましたが、ヘルスケア事業が収益貢献するまでは安定配当を維持する方針であることを勘案し、1株あたり8円とさせていただきます。期末配当金予想についても変更ありません。

### 1株当たり配当金予想

|                  | 中間<br>配当金  | 期末<br>配当金 | 年間<br>配当金 |
|------------------|------------|-----------|-----------|
| 2022年9月期<br>(予想) | 8円<br>(実績) | 8円        | 16円       |
| 2021年9月期<br>(実績) | 8円         | 8円        | 16円       |

# 学校DX事業に先行投資

## クラウド型校務支援システム『BLEND』への引き合い急増

当社子会社のモチベーションワークス株式会社の学校DX事業における、クラウド型校務支援システム『BLEND』への引き合いが急増しています。そのため、あらゆる学校のニーズに対応できるシステムのバージョンアップのための改修を行っています。短期的にはこの先行投資が集中しますが、来期以降の売上拡大に繋げていきます。

### 生徒と教師をつなぐ クラウド型 校務支援システム **BLEND**



教師の作業負担を大幅に削減

## 学校DXへの需要が高まった背景

教育現場は、デジタル化が遅れている分野の1つです。新型コロナウイルス感染症の拡大によって、デジタル化のニーズは一気に高まりました。生徒へノートパソコンやタブレットが配布されオンライン授業の普及が進む一方、学校教師の負担が増え超過残業の問題がさらに深刻化しました。教師の働き方改革の面からも、喫緊の課題となっており、学校の業務を効率化するために、学校DXへの需要が急速に高まりました。



## KEYWORD 「校務」とは？

校務とは、学校の仕事全体を示す言葉であり、学校運営に必要なすべての仕事を包括的に示したもの。具体的には以下のような業務がある。

- (1) 学習指導などの教育活動
- (2) 教職員の人事関係の事務
- (3) 児童・生徒管理業務
- (4) 学校施設・設備関連事務
- (5) 文書作成、会計事務
- (6) 教育委員会やPTA、その他関係機関との調整



あらゆる校務を  
一つのシステムに集約

## BLEND



## エムティーアイのサステナビリティ ～より良い未来社会の実現のために～

エムティーアイのビジョン「世の中を、一歩先へ。」が目指す世界は、SDGsの考えと同じ方向性です。当社グループでは、さまざまな分野・業界においてより多くの個人のお客様や法人のお客様にITサービスをお届けすることを通じて、持続可能でよりよい未来社会の実現を目指しています。

関連するSDGs



### 3つの重点分野

#### ① ヘルスケアサービスを通じた健康で豊かな社会への貢献

女性向けヘルスケアサービスを起点に、より多くの人の健康で豊かな生涯をサポートするための事業活動を、多様なステークホルダーと共に展開していきます。

##### ● 女性の健康に対する理解の促進

女性のカラダの仕組みや生理による心身の揺らぎなどについて正しく学ぶ機会を創出し、年齢や性別を問わず社会全体で寄り添いあえる環境を目指す、理解浸透プロジェクト「FEMCATION (フェメケーション)」を通じて、啓発イベントなどによる教育プログラムを運営しています。



#### ② 多様性と働きがい、公平・公正を重視した組織づくりの推進

ダイバーシティ推進によってさまざまな人が平等に活躍できる場を創出するとともに、働きがいのある職場環境を構築します。また、コンプライアンスを遵守し、公平・公正な社会の実現に寄与します。

##### ● 健康経営の推進

長時間労働の改善、メンタル不調の発生予防などの取組みにより、経済産業省と日本健康会議が主催する「健康経営優良法人ホワイト500」に2018年より連続して選出されています。



#### ③ テクノロジーを活用した地域課題の解決

人々の生活における利便性の向上、地球環境の変化に伴う災害への対策など、地域が抱える課題に対し、テクノロジーを駆使して解決に取り組んでいきます。

##### ● 災害への対策

最先端の気象レーダ「フェーズドアレイレーダ」を活用したゲリラ豪雨検知アプリ『3D雨雲ウォッチ』や、航空機の安全な運行のための航空気象システム『ARVI (アーヴィー)』などさまざまな気象関連サービスの開発・提供を通じて、気象予測情報の伝達技術を活用し、気象災害による被害の低減に向けた活動を進めています。



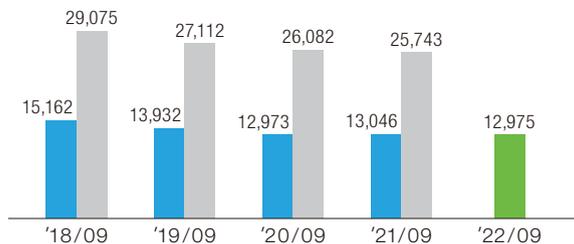
MORE

本紙でご紹介した内容以外にも、さまざまなサステナビリティに取り組んでいます。詳細は、当社コーポレートサイトサステナビリティページをご覧ください。

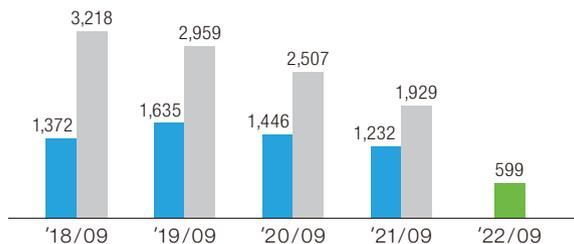
## 決算データ

## 売上高

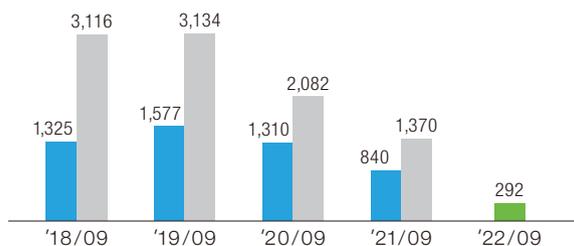
■：上期 ■：通期 ■：当上期  
(単位：百万円)



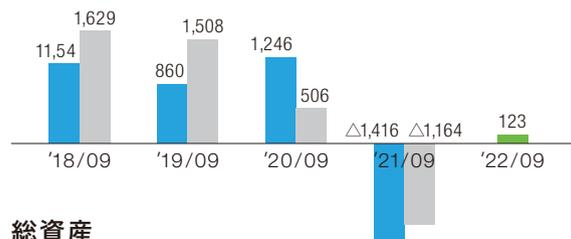
## 営業利益



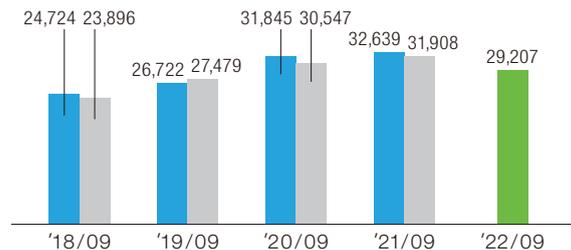
## 経常利益



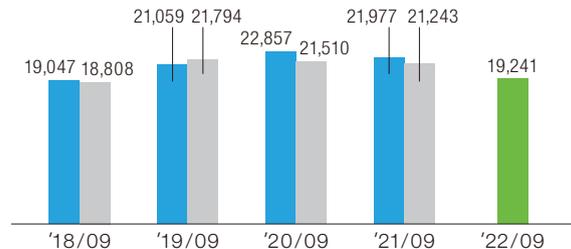
## 親会社株主に帰属する当期純利益



## 総資産



## 純資産

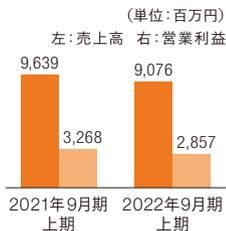


## セグメント別業績

## ① コンテンツ事業

- ・月額課金サービス(『ルナルナ』、『カラダメディカ』以外)
- ・オリジナルコミック事業

売上高については、オリジナルコミックの売上高が拡大しましたが、前年同期比で有料会員数が減少したことにより90億76百万円(前年同期比5.8%減)となりました。営業利益については、前年同期比で有料会員数が減少したことを主因に28億57百万円(同12.6%減)となりました。



## ② ヘルスケア事業

- ・医療機関・自治体向けヘルスケアサービス  
(『ルナルナ』、『カラダメディカ』の月額課金サービスを含む)

売上高については、「クラウド薬歴」等の売上高が拡大しましたが、前年同期比で有料会員数が減少したことにより18億85百万円(前年同期比2.5%減)となりました。営業利益については、先行投資費用負担が続いていることから6億48百万円の損失(前年同期は6億60百万円の損失)となりました。



## ③ その他事業

- ・AI事業 ・DX支援事業 ・学校DX事業 ・法人向けソリューション事業

売上高については、大手法人向けDX支援事業や学校DX事業の売上高が拡大したことにより、26億59百万円(前年同期比28.9%増)となりました。営業利益については、大手法人向けDX支援事業で低採算案件が増えたことに伴い売上原価が増加したこと、学校DX事業における体制強化のための人員増強による人件費の増加、開発強化による外注費・減価償却費の増加等により4億9百万円の損失(前年同期は18百万円の損失)となりました。



## 上期決算のポイント

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

|        | 2022年3月末 | 2021年9月末 |
|--------|----------|----------|
| 流動資産 1 | 18,136   | 21,262   |
| 固定資産 2 | 11,071   | 10,646   |
| 流動負債 3 | 6,104    | 6,655    |
| 固定負債   | 3,861    | 4,009    |
| 純資産 4  | 19,241   | 21,243   |
| 総資産    | 29,207   | 31,908   |

## 1 流動資産

現金及び預金の減少を主因に31億26百万円減少しました。

## 2 固定資産

投資有価証券が減少しましたが、ソフトウェアの増加を主因に4億25百万円増加しました。

## 3 流動負債

未払法人税等が減少したことを主因に5億51百万円減少しました。

## 4 純資産

配当金の支払いおよび「収益認識に関する会計基準」等の適用に伴う影響により20億1百万円減少しました。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

|                      | 2022年9月期 上期 | 2021年9月期 上期 |
|----------------------|-------------|-------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー     | △788        | 2,037       |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー     | △1,413      | △879        |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー     | △776        | 1,287       |
| 現金及び現金同等物の<br>四半期末残高 | 12,590      | 15,811      |

## 会社情報/株式情報

2022年3月31日現在

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

|                                      | 2022年9月期<br>上期 | 2021年9月期<br>上期 |
|--------------------------------------|----------------|----------------|
| 売上高 <b>5</b>                         | 12,975         | 13,046         |
| 売上原価                                 | 3,814          | 3,419          |
| 売上総利益 <b>5</b>                       | 9,160          | 9,627          |
| 販売費及び一般管理費                           | 8,561          | 8,395          |
| 営業利益 <b>6</b>                        | 599            | 1,232          |
| 営業外収益                                | 53             | 91             |
| 営業外費用                                | 359            | 483            |
| 経常利益 <b>6</b>                        | 292            | 840            |
| 特別利益                                 | 88             | 5              |
| 特別損失                                 | 19             | 109            |
| 親会社株主に帰属する<br>四半期純利益 (△は損失) <b>7</b> | 123            | △1,416         |

**5 売上高／売上総利益**

大手企業向けDX支援事業の売上拡大が、コンテンツ事業における月額有料会員数の減少による減収分を補い、売上高は前年同期比横ばいとなりましたが、売上総利益は、売上原価率の高いその他事業の増収により減少しました。

**6 営業利益／経常利益**

営業利益および経常利益は、学校DX事業の人件費が増加したことを主因として、販売費及び一般管理費が増加し、ともに減益となりました。

**7 親会社株主に帰属する四半期純利益**

親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別損失および法人税等の減少により、増益となりました。

## 会社概要

|       |   |
|-------|---|
| 商号    | 株式会社エムティーアイ                                   |
| 設立    | 1996年8月12日                                    |
| 資本金   | 5,212百万円                                      |
| 本社所在地 | 〒163-1435 東京都新宿区西新宿<br>3-20-2 東京オペラシティタワー 35F |
| 従業員数  | 1,298名(連結)                                    |
| URL   | https://ir.mti.co.jp/                         |

## グループ会社

## [連結子会社]

(株)ビデオマーケット、(株)メディアノ、母子モ(株)、(株)ルナルナメディコ、(株)クリプラ、(株)エムティーアイ・ヘルスケア・ホールディングス、(株)カラダメディカ、(株)ソラミチシステム、モチベーションワークス(株)、(株)ファルモ、クラウドキャスト(株)、Automagi(株)、MTI TECHNOLOGY Co., Ltd.、(株)エムティーアイ・コンサルティング

## [持分法適用関連会社]

(株)Authlete、(株)昭文社ホールディングス、(株)ポケット・クエリーズ、(株)エムネス

## 大株主

|                             | 持株数(株)     | 議決権比率  |
|-----------------------------|------------|--------|
| 前多俊宏                        | 11,869,200 | 21.85% |
| 株式会社ケイ・エム・シー                | 10,096,000 | 18.59% |
| 株式会社エムティーアイ                 | 6,249,434  | —      |
| 株式会社UH Partners 2           | 5,358,700  | 9.86%  |
| 光通信株式会社                     | 4,062,100  | 7.48%  |
| 株式会社UH Partners 3           | 3,660,200  | 6.74%  |
| 株式会社メディアパルホールディングス          | 3,150,000  | 5.80%  |
| 日本マスタートラスト信託銀行<br>株式会社(信託口) | 2,299,600  | 4.23%  |
| 株式会社エスアイエル                  | 1,296,600  | 2.39%  |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口)          | 1,012,200  | 1.86%  |

## 株主メモ

## 株式状況

|          |              |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 179,040,000株 |
| 発行済株式総数  | 61,248,200株  |
| 株主総数     | 3,971名       |

## 役員

|         |          |       |          |
|---------|----------|-------|----------|
| 代表取締役社長 | 前多 俊宏    | 取締役   | 藤田 聰(※)  |
| 取締役副社長  | 泉 博史     | 取締役   | 横山 禎徳(※) |
| 取締役副社長  | 武井 実     | 常勤監査役 | 丹羽 康彦(※) |
| 専務取締役   | 松本 博     | 監査役   | 笠原 智恵(※) |
| 取締役     | 周 牧之(※)  | 監査役   | 安田 成喜(※) |
| 取締役     | 山本 晶(※)  | 監査役   | 奥田 高子(※) |
| 取締役     | 土屋 了介(※) |       |          |

※は独立役員

## 株式分布状況

|                  |        |
|------------------|--------|
| ■ 金融機関           | 5.78%  |
| ■ 金融商品取引業者       | 0.69%  |
| ■ その他法人          | 49.06% |
| ■ 外国法人等          | 5.84%  |
| ■ 個人・その他         | 28.42% |
| ■ 自己名義株式         | 10.20% |
| ■ 1以上5未満         | 0.52%  |
| ■ 5以上10未満        | 0.84%  |
| ■ 10以上50未満       | 2.73%  |
| ■ 50以上100未満      | 1.27%  |
| ■ 100以上500未満     | 3.85%  |
| ■ 500以上1,000未満   | 1.17%  |
| ■ 1,000以上5,000未満 | 5.59%  |
| ■ 5,000以上        | 84.03% |

※単位：単元



|              |  |
|--------------|--|
| 事業年度         | 10月1日～翌年9月30日  |
| 期末配当金受領株主確定日 | 9月30日  |
| 中間配当金受領株主確定日 | 3月31日  |
| 定時株主総会       | 12月  |
| 株主名簿管理人      | 三菱UFJ信託銀行株式会社  |
| 特別口座管理機関     | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  |
| 同連絡先         | 〒183-0044 東京都府中市日鋼町 1-1<br>TEL 0120-232-711  |
| 同郵送先         | 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部   |
| 上場証券取引所      | 東証プライム市場(証券コード：9438)   |
| 公告方法         | 電子公告により行う<br>URL <a href="https://ir.mti.co.jp/stocks/public_notice/">https://ir.mti.co.jp/stocks/public_notice/</a><br>(ただし、電子公告によることのできない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告します。) |

## 株式に関する手続きについて

- 1 株主さまの住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 3 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

また、各種お手続き用紙のご請求につきましては、インターネットによるダウンロード(<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>)、または証券代行部テレホンセンター(0120-232-711(通話料無料))をご利用ください。

※本誌には当社の将来に関連する記述があります。この前提および将来予測の記述には、経営を取り巻く環境の変化などによる一定のリスクと不確定要素が含まれていることに留意ください。